

海洋理工学会 2019年度秋季 大会プログラム

11月19日(火) 会場:京都大学 楽友会館

10:00 ~ 受付
10:25 ~10:30 開会

学会賞受賞記念講演

10:30-11:10 H1. [第17回掘田記念奨励賞]

ワカメ胞子体の色落ち現象に対する鉄欠乏の影響

奥村 真子 (金沢大学理工研究域機械工学系)

11:10-11:50 H2. [2019年度業績賞]

海底マッピング無人化への挑戦~Team KUROSHIO 3年間の軌跡~

Team KUROSHIO

11:50-12:30 H3. [2019年度顕功賞]

無人観測船の開発運用を支えてくれた人の輪

千賀 康弘 (東海大学海洋学部)

12:30-13:25 昼休み

シンポジウム「海洋ロボティクスの最先端」

13:25-13:30 趣旨説明

川口 勝義 (JAMSTEC)

13:30-14:10 S1. AUV 複数運用による高効率・高精度海底調査

金 岡秀 (海上技術安全研究所)

14:10-14:50 S2. ASV (洋上中継器) の開発と運用

各務 均 (三井 E&S 造船株式会社)

14:50-15:30 S3. 海洋ロボットによるウニ採捕 - 豊かな海へ -

田原 淳一郎 (東京海洋大学)

15:30-15:40 休憩

15:40-16:20 S4. 海洋観測用小型プラットフォームの開発

渡 健介 (国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋工学センター)

16:20-17:00 S5. Marine robotics in Norway

Lars G. Golmen (東京海洋大学)

17:00-17:30 総合討論

17:40-19:00 イブニングセッション (京都大学 楽友会館レストラン)

11月20日(水) 会場:京都大学 楽友会館

9:00 ~ 受付

一般講演・ポスターセッション

9:30-10:30 一般講演 1「モデル 1」 座長 畑 恭子 (いであ株式会社)

- A1. 六ヶ所村大型再処理施設周辺の集水域-汽水湖-沿岸における放射性核種移行モデルの構築
○ 植田真司・長谷川英尚・大島和裕・久松俊一 (環境科学技術研究所)
- A2. 下北半島周辺海域における放射性核種移行モデルの構築
○ 中山智治・小藤久毅・印 貞治・賀佐信一・久慈智幸・渡邊修一・島 茂樹 (日本海洋科学振興財団)
- A3. 六ヶ所村大型再処理施設から沿岸海域へ放出された ^3H 濃度の数値計算: 入力データが計算結果へ及ぼす影響
○ 大島和裕・阿部康一・植田真司・久松俊一 (環境科学技術研究所)

10:30-11:50 一般講演 2「モデル 2、プランクトン」 座長 植田 真司 (環境研)

- A4. 播磨灘における大型珪藻の栄養塩競合の解析
☆ 今田理久・相馬明郎 (大阪市大)、西川哲也 (兵庫県立農林水産技術センター)、渋谷 尚 (みずほ情報総研)
- A5. 亜熱帯海草生態系の気候変動緩和機能とメカニズム解明の試み
☆ 戸田慎治・相馬明郎 (大阪市大)、渋谷 尚 (みずほ情報総研)、茂木博匡・桑江朝比呂 (PARI)
- A6. 東京湾における底生生態系が大気-海洋間 CO_2 フラックスに与える影響
☆ 岡田大知・相馬明郎 (大阪市大)
- A7. Underwater Vision Profiler を用いたプランクトン観測: 太平洋における鉛直プロファイル
☆ 柴田正志 (イーエムエス)、田中祐志 (東京海洋大)

11:50-13:00 昼休み(理事会開催)

13:00-13:40 ポスターセッション 楽友会館

- P1. 山口県山陰沿岸の航走 ADCP 観測データを用いた潮流と平均流の推定
☆ 都倉雄太・滝川哲太郎 (長崎大院水産)、渡辺俊輝 (山口県水産研究センター)、森本昭彦 (愛媛大沿岸環境科学研究センター)、鎌野 忠・秦 一浩 (水産大学校)
- P2. 釣竿に取り付けた慣性センサを用いた釣人の行動認識
☆ 福田修之・Hanbit Oh・Seong eon Hong・Hyuckjin Choi・松田裕貴・安本慶一 (奈良先端科学技術大院)
- P3. Voluntary Observation Ship (篤志観測船) を用いた高分解能サンプリング: 東京湾-苫小牧間の植物・動物プランクトンの種組成とサイズ組成
○ 大村卓朗・中村理絵 (LASC)、Ridvan Kaan Gürses・田中祐志 (東京海洋大)
- P4. GEOTRACES 計画で得られた海水試料中の硝酸の安定同位体比定量に向けた前処理法の改良
☆ 有賀詩織・富所春奈・小松大祐・成田尚史 (東海大院)
- P5. 光と電磁波を利用した海中無線技術の研究動向
○ 吉田 弘・石橋正二郎・出口充康 (JAMSTEC)

P6. 「ちきゅう」&DONET を活用した海底～大気の同時貫通観測

- 有吉慶介・美山 透・脇田昌英・内田裕・木元克典・中野善之・藤原 周・永野 憲・西田周平・町田祐弥・宮澤泰正・桑谷 立・藤田実季子・川合義美・青池 寛 (JAMSTEC)、市川 香・酒見亮佑・油布 圭 (九州大学)、吉田 聡 (京都大学)、藤 亜希子 (東京大学)、長谷川 拓也 (東北大学)

P7. 北極域海氷下観測ドローン用音響ホーマー・通信システムの開発

- ☆ 前田洋作・石橋正二郎・田中聖隆・吉田 弘 (JAMSTEC)

13:40-15:00 一般講演 3「衛星・気象・海象」

座長 吉田 弘 (JAMSTEC)

A8. 衛星搭載マイクロ波放射計 AMSR シリーズで観測された海上風速の長期安定性について

- 江淵直人 (北大 低温研)

A9. 高解像度光学観測衛星「しきさい」を用いた湖沼における水質モニタリングの可能性

- ☆ 塚本浩貴・林 正能 (サイエンスアンドテクノロジー)、石坂丞二 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)、後藤直成 (滋賀県立大学環境科学部)

A10. 風波水槽での大気・海洋間運動量輸送における表層流の影響の検討に向けた初期実験

- ☆ 田中千晶 (近畿大院総合理工)、鈴木直哉 (近畿大)、高垣直尚 (兵庫県大)、根田昌典 (京大)

A11. 黒潮続流南側海域における 2005-6 年冬季季節内の海洋表層水塊過程に関する研究

- ☆ 菊田将平 (サイエンスアンドテクノロジー)、植原量行 (東海大)

15:00-16:20 一般講演 4「機器開発」

座長 千賀 康弘 (東海大学海洋学部)

A12. ROV を用いたウニ駆除システム

- ☆ 川村大和・斎藤幹大・伊藤 魁・Son Munseong・加藤 哲 (東京海洋大院)、田原淳一郎・和泉充 (東京海洋大学術研究院)

A13. 極域用海中観測ドローンの開発

- 田中聖隆・吉田 弘・石橋正二郎・前田洋作 (JAMSTEC)

A14. 海中レーザースキャナーを用いた水圧計補正試験

- 石橋正二郎 (JAMSTEC)

A15. 使えるロボットができないいくつかの理由

- 吉田 弘 (JAMSTEC)

16:30-16:40 ベストプレゼンテーション賞表彰(☆発表者が対象者)

16:40~16:45 閉会